

ストレスの効用

2014年9月9日

クローバー・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 多根 幹雄

先日、面白いセミナーがありました。NPOの「ニューロクリアティブ研究会」が年に何度かやっているセミナーで、今回のテーマは「ストレス」。ストレスというと病気の原因となる悪いものだと思いがちですが、そういうことばかりではないらしく「ストレスは人生のエッセンス」とまで言う学者もいたそうで、生物にとって不可欠なものようです。

例えば、皆さんが子供のころに行った動物園を思い出してください。どの動物もグターツとして元気なく、いつも寝転んでいませんでしたか？当時、私は狭い所に閉じ込められているので、運動不足でそうなるのだと思っていました。しかし実際は、動物園の中では天敵もいないし、餌も与えてもらえるので、いわゆる「ゆるみっぱなし」の状態が続いたのが、本当の原因だということです。

また、自然界にいるクロコオロギは1000キロも飛んで移動する力を持っているのですが、研究室で20年も人間に飼われていると、全く飛べなくなるそうです。そのコオロギをなんとか再び飛ばそうとチャレンジした高校生たちがいました。彼らはどんなことをしたのでしょうか？まず、餌をほとんど与えない、さらに、ドライヤーの送風で彼らをいじめ通しました。その結果、見事に再び飛べるようになったそうです。

人間のケースでも、定年退職を迎えた人が急にウツになったり、休みの日にごろごろしていると体調が悪くなるのも、ストレスが無くなるのが原因の一つでしょう。秀吉が信長亡きあと、別人のように悪くなっていくのも、「信長」という強烈な「ストレス」が無くなってしまったことと関連がありそうです。もしかしたら、頭の上がらない厳しい上司も、結構あなたを健全に保つのに役立っているのかもしれないね。

考えてみれば、われわれ先祖は、太古の昔からつい最近まで、天敵から身を守ることや飢えの恐怖などのストレスを常に感じながら生きて来ました。だから、われわれのDNAには、それらのストレスをバランスよく受け入れながら、生きて行く手段が備わっているはずです。

ただ、ストレスはもろ刃の剣。ストレスを上手に活かして行くにはどうしたらいいでしょうか？その為には、国や他人に何でも頼ろうとするのではなく、まず「自らの力で何とかしようという強い意志を持つ」こと。そのことが、心地よいストレスを生み、あなたの生命力を高めてくれるのだと思いますが、いかがでしょうか。

8月も運用は引き続き好調で、お陰さまで全てのファンドで月末にかけて最高値を更新しました。また、9月より新しいメンバーが加わりましたのでご紹介します。さわかみ投信立ち上げ当時の主力メンバーで、前ユニオン投信社長の田子慶紀氏です。田子氏を取締役に迎え、さらに強力なチームで皆様の長期の資産づくりに邁進していきたいと思えます。これからもよろしくお願いたします。

セミナーのご案内



ふやす
(中級)

東京

私の「長期投資」列伝 ～波乱万丈を乗り越えて～

【日時】 2014年9月19日(金)18:00～20:00(開場17:30)

【会場】 ポーラ銀座ビル 4Fミキシムギンザ内
東京都中央区銀座1-7-7

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 33名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
多根 幹雄 弊社代表



澤上 篤人氏



はじめる
(初級)

京都

貯金がない人こそ投資をはじめよう！

【日時】 2014年9月27日(土)13:30～15:30(開場13:00)

【会場】 パリミキ四条烏丸店内
京都市下京区四条通高倉西入立売西町74-1

【費用】 無料(交流会参加の場合は500円)

【定員】 25名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
多根 幹雄 弊社代表



ふやす
(中級)

東京

選択と集中

【日時】 2014年10月3日(金)18:00～20:00(開場17:30)

【会場】 ポーラ銀座ビル 4Fミキシムギンザ内
東京都中央区銀座1-7-7

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 33名

【講師】 草刈 貴弘氏 さわかみ投信CIO
多根 幹雄 弊社代表



草刈 貴弘氏

お申込み

クローバー・アセットマネジメント

03-6262-3923

または

gyoumu@clover-am.co.jp

『時 × 空』投資で創る自由な未来

clover
asset management

■当セミナーでは、クローバー・アセットマネジメント株式会社が設定・運用・販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。■投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様へ帰属します。■当セミナーで示された数値、見通し等は、講演会開催時点のものであり、その正確性を保証するものではなく、将来予告なく変更されることがあります。将来の企業業績、市場環境の変化および運用成果等を保証するものではありません。

ファンド概況

基準価額	14,178円	純資産総額	535百万円
設定日	2008年4月22日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

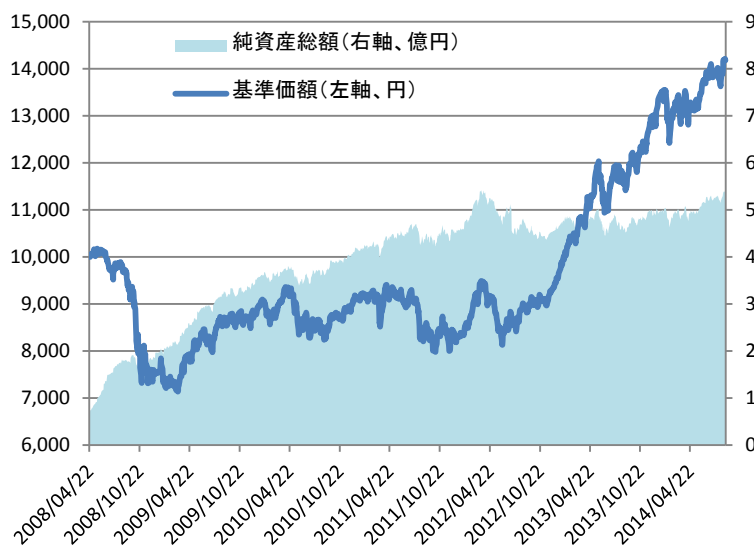
期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
1.25	5.40	7.10	23.72	67.04	41.78

分配金(円)

直近3期を表示			
4期 ('12/2/27)	5期 ('13/2/25)	6期 ('14/2/25)	累計
0	0	0	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

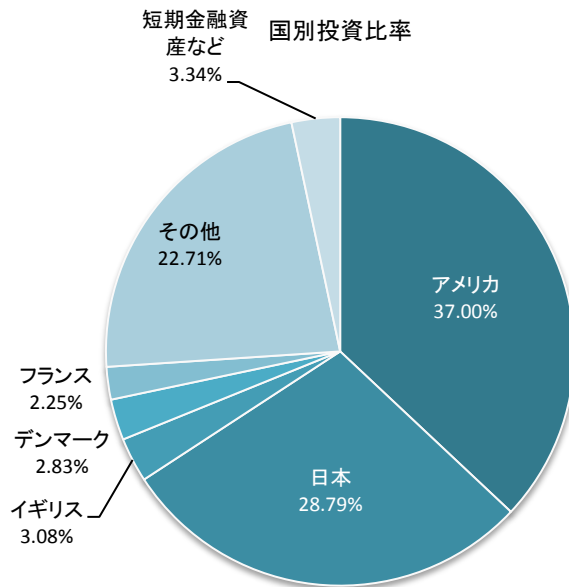
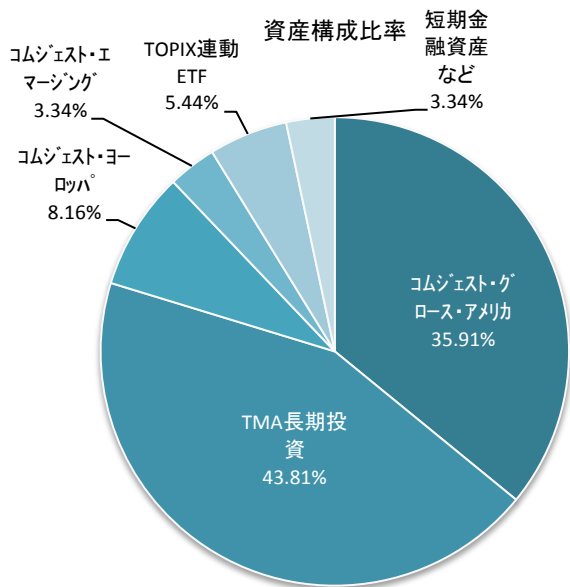
米国株式市場は、5月の中旬から上昇トレンドにのっていましたが、株式市場の一服感や地政学的リスク（ウクライナ、イラク等）を懸念した動き、欧州経済の回復スピードがまだまだ緩慢であることなどから、8月に入り一時調整局面を迎えました。しかし、その後、企業収益の堅調さや底堅い経済指標が追い風となり、後半にかけて下げを取り戻し、結局、高値更新となりました。

日本の株式市場も、米株式市場の調整を受け、月初には大きく下落しました。しかし、公的年金資金のリスク志向（外貨志向）報道等が、日本側からの円売り材料となり、ドルが年初来高値を付ける状況の中で、徐々に活気を取り戻し、わずかに前月比マイナスの結果となりました。

かいたくファンドは、コムジェスト・エマージングファンド、同グロース・アメリカが大きく貢献し1.25%という結果となりました。

今後は、調整局面では、個別株ファンドに買いを入れてゆく予定です。

ポートフォリオの状況



かいたくファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入銘柄数: 141銘柄)

順位	銘柄名	事業内容	組入比率	組入れファンド名
1	Comcast Corporation Class A	アメリカ合衆国最大のケーブルテレビ局	1.83%	コムジエスト・グロース・アメリカ
2	Johnson & Johnson	製薬ヘルスケア部門で世界第2位	1.80%	コムジエスト・グロース・アメリカ
3	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.75%	TMA長期投資
4	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	1.71%	TMA長期投資
5	Microsoft Corporation	世界最大のコンピューター・ソフトウェア会社	1.69%	コムジエスト・グロース・アメリカ
6	シマノ	バイク、釣具、ボート等を製造	1.62%	TMA長期投資
7	Medtronic, Inc.	AEDなどの医療機器メーカー	1.62%	コムジエスト・グロース・アメリカ
8	Tyco International Ltd.	防災・警備機器およびシステムの製造・販売(スイス)	1.51%	コムジエスト・グロース・アメリカ
9	エア・ウォーター	総合ガス企業	1.49%	TMA長期投資
10	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	1.45%	TMA長期投資

ファンドの特色

①「世界投資」

当ファンドは、運用資産を長期的に大きく成長させるため、日本だけでなく成長を続ける世界へ投資を行います。世界へ投資することで、世界経済のダイナミックな成長の恩恵を得ることが可能となります。

②「分散投資」

当ファンドは、為替変動や政変・戦争など世界の株式市場に投資した場合のさまざまなリスクを抑えるために複数のファンドに投資を行うファンド・オブ・ファンズの投資手法を利用することで、国、地域、銘柄、産業などを分散し、時間(投資するタイミング)も分散します。

③「長期投資」

当ファンドは、短期的な運用成績の追及は目標とせず、長期的な運用リターンを最大化することを追求します。具体的には長期的な価値以上に割安となった国、地域、銘柄、産業などを投資対象とするファンドへの投資を行い長い時間軸で運用リターンを最大化する「バイ&ホールド」を基本的な戦略をします。但し、株価が割高であると判断した時や時価のボラティリティ(変動)が大きくなると判断した時は、長期的な運用リターンを最大化するために現金比率を最大限高めて基準価額のボラティリティを抑えます。

④「世界中から厳選したファンド」

当ファンドは、基準価額の変動を抑え長期間にわたり安定的な成長を行うファンドや、長期間にわたりインデックスを上回るようなファンド、長期的に有望な国、地域、産業などを投資対象とするファンドを厳格な基準に基づいて選別して投資対象のファンドとします。

⑤「アセットアロケーション」

当ファンドは、世界の景気サイクルに沿って、投資する国、地域、産業などを大きく切り替えていくことで、資産配分の調整を行います。また、キャッシュも重要なアセットアロケーションのクラスと考えており、マーケット環境によっては積極的にキャッシュ比率を最大限引き上げる場合もあります。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.756%(税抜き0.7000%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.2%(概算)
その他費用・ 手数料	監査費用、租税、信託事務の処理および販売にかかわる資料等に要する諸費用を純資産総額の年率0.108%(税抜き0.10%)を上限として投資信託財産から支払うことができます。 *これらの費用は運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

業務管理部からのお知らせ

朝夕が涼ぎやすい季節となりました。皆様におかれましてはお変わりございませんか。

【「毎月つみたてサービス」の再開のお手続きについて】

過去に「サービスの中止」のお申込みをされた方、3ヶ月連続で引き落としができず中止となっている方の中で、下記の3つを条件として再開のお申込みをお電話（本人確認有）で承れるよう、お手続きの一部簡素化を図ることといたしました。

※以前は、すべて書面（郵送）でのお申込みをいただいております

- ①中止前と同じファンドであること
- ②中止前と同じ引き落とし口座であること
- ③お申込みの直近の引き落とし日から再開であること（再開月の指定はできません）

【ご登録内容の変更はございませんか？】

投資信託説明書（交付目論見書）を皆さまのもとへ確実にお届けするために、ご住所・電話番号・Eメールアドレス等に変更がないか、いま一度ご確認ください。

投資信託説明書（交付目論見書）以外にも、お取引に関する重要な書類や大切なお知らせもございますので、ご登録内容に変更がございましたら、下記の手順にてお手続きをお願いします。

- ①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。
- ②「登録事項変更届」にご記入のうえ、ご返送ください。
※弊社ご登録印であることをご確認ください。
※新住所が記載された「ご本人様確認書類」（運転免許証の写し・住民票等）をご同封ください。
- ③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を送いたしますので、内容をご確認ください。
なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。
<ホームページの場合>
「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。
<お電話の場合>
「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止・再開締切日	引落日	約定日
平成26年10月	受付終了	9月22日（月）	10月6日（月）	10月17日（金）
平成26年11月	10月1日（水）	10月22日（水）	11月5日（水）	11月17日（月）

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認（氏名、住所、現在の契約内容等）をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部（受付時間：平日9時～17時）

TEL:03-6262-3923 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります）に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。